



一千万の借金地獄 金欠病からの脱出

近橋真由美と申します。

私は子供の頃は体が弱くて病気のデパートでした。

喘息に肺炎・てんかんを持っていました。

それでもとにかく薬が大嫌いでこれらの病気の薬も処方された量を飲み切ったことがなく

常に大人に見張られながら飲まされていました。それでも薬を飲まずにいました。

当時は分からなかったのですが子供の頃は直感に素直に従っていたから薬を飲まずに病気が完治したんだと思います。

この薬については 不思議な経験をしたのですが、

大人の自分が「飲むな、飲まなくても治る」と教えてもらったのです。

大人になって薬の害をしり、瞑想で子供の時の自分に飲むなといいに行ったのですが、

これを 子供の私が覚えていて飲まなかったのです。

時間って過去から現在に流れているのではなく点だよというのを瞑想で見た事がありますが、

それが妙に納得したのを今でも覚えています。

このてんかん、喘息が自然に治った事は また次の時にお伝えします。

瞑想で後で探っていったらてんかんの薬を飲み続けていたら 今頃とんでもないことになっているようでした。

助けられてよかったです。

大人になるにつれて次第に直感・心の声を無視するようになると、人生最大の問題にぶち当たりました。

(これ教訓です 心の声を無視すると失敗するという、今ならわかりますが当時はわかりませんでした)

心の声を無視し続けた結果、私は最大で1000万円の借金をしてしまいました。

自分の直観を無視し続け、他人の意見に振り回され、自分の人生なのに重要な決断を人任せにしていたからです。

きっかけは数年前、当時(ネイルサロンをしていた私のお客様できていた建設業者の女性社長と出会った事です。

彼女が悪いというよりは、自分に責任があり、自分の直観・心の声を聴かなかった私が間違った選択を私に非があります。

1番最初の直観は電話予約の時に働いていました。

「何この人、感じ悪」と思いました。姿は見えないのにすごく嫌な感じがしました。

今思うと 直感が この人とは深入りしないでね。というサインだったかもしれません。

当時の私はそんなお構いなしで『社長』という肩書に目がくらみました。

社長ならお金いっぱい出してくれるかもと厭らしい考えで接していました。

その社長から、近橋さんこのままアパートでネイルの仕事を終わらすの？ 将来はどうするの？と聞かれました。

私自身、将来的には広いお店で人を雇って自分は仕事せずに遊んで暮らしたいよね。と思っていました。

この仕事をせずに という横暴な考えだったから それによく似た 人を引き寄せてしまったのかもしれないと今ならわかります。

そう伝えると、

「それだったら私応援するよ。企画書とか融資の取り方から教えてあげる。

実力があるのにもったいない。サポートするよ。若い人応援したいんだよね、

特に同じ女性だとさ。と話になっていき今までそんな事を言われたことがない私は天にも昇る気分でした。

劣等感が強くて人に認めてもらえた事がとにかく嬉しくて勘違いしていました。



(劣等感がどれだけ身を滅ぼすか、本当に思い知りました。

今は劣等感を持ったまま頑張っても落ちるという事を身をもって知ったので劣等感を持っている方には癒したほうがいいよ、あれは自分を自滅させるよと 声を大して言えますが、当時は知りませんでした。無知って怖いです。)

「何に対して、誰に対して 劣等感を持っているかを書きだし劣等感を明確にします。そして、

劣等感人と比べるから、自分は素晴らしい前提の私ならどうする？と何度も自分に質問をしていきました。

自分が素晴らしい前提なら、比べない。劣等感も持たないし、凄い人と出会っても、素直にその人との違いを埋めよう教わろうと思えるようになりました。そして、脳が劣等感はいらないんだと認識するようになっていきました。

今では劣等感ほとんどありません。時々顔を出すことはあるかもしれませんが、癒し方を知っているので小さいうちにかり取れます癒したら楽になりました。結局『自分だけ』という前提があるから、劣等感になるのがわかったので劣等感についてはまた次の機械でお話しますので話を戻しますね。

その女社長さんとの話はどんどん進んでいきました。翌週には物件を見繕って見たからとか銀行に話したからとなり。

第2の直観は、事のあまりの速さに恐怖心があったことでした。

またしてもこの心の声を無視したわけです。

怖いと思うと同時に、こんな私の為にみんなが動いてくれている。

やっぱりやめます。何て口が裂けても言えない。申し訳ないもん。と自分に言い聞かせていました。

融資の話も自己資金のない私に銀行が貸すわけない。700万も貸すって言ったら頭おかしい銀行だよ。

とまで思っていました。何よりも銀行からNGが出れば話は止まるだろ。社長も納得してくれるだろ。

と甘い考えがありました。ところが銀行から融資します。と連絡がありました。

あまりのショックで目の前が真っ暗になりました。

この先どうしたらいいんだろう。返せるのかな。そんな事ばかりが考えていました。

変な話ですが、晴れて念願の オーナーになるのに 最初に ショックだったんですね、

今なら 自分の感情直感が教えてくれる のでわかるのですが 当時の私は知る由もありませんでした。

ここまでくると後に引けない。現実を見たくない。

この時に断る勇気があったら こんなことにはならなかったのですが

ここで現実を見たくないから、逃げてしまい、その結果借金漬けになってしまいました。

今は直感に従わないと失敗する、今は直感大事にしています。

ネイルサロンのオーナーになった以上、他人に弱みを見せられない、みせたくない。

と思っていたのでストレスはどんどん溜まっていき、15キロくらい痩せていました。

家賃25万 融資の返済15万 もろもろの支払いで毎月5・60万の支払いが気になって心配で心配で。

あんなに痩せたかったのにそれさえも気づかないほどでした。支払いの事ばかり考えていた。

———浅はかな 考え———

即戦力のネイリストを雇うとなれば時給は最低でも¥1000以上かかる。そんな事はとても無理。

となると時給が安い未経験者がいいかな、と間違った方へさらに進んでいきました。

時給850円も払いたくなかったのですが、



雇ってみると接客もしたことがないから0から教えないといけない。

面倒くさい のと

余計な事に時間を割かれイライラは止まらない。

安い時給と けちったり、こんな考えの私だからいい人材も全く来ない。

拳句の果てにはアルバイトは2か月もたたず皆、辞めていく。

こんなことの繰り返しで発狂寸前でした。

節約する事が かえって逆効果だと 今ならわかります。目先だけしか考えていなかったから失敗したのです。

目の前の金額ではなく、じっくり考えたら即戦力になる時給1200円のほうがどれだけよかったか、今ならわかります。

節約は 危険な目に会う、目先だけで考えないは 教訓になりました。

そんな時にリーマンショックが起きました。テレビでは連日景気が悪い、悪いとネガティブな情報ばかりが流れている。

そんな事が耳に入るたびに自分の人生もここまでか。とっていました。

自分を責めたり、ネガティブな事を考える事にも莫大なエネルギーが必要で考えることさえもできなくなりました。

本当にこれでいいのかなあ。世の中、戦後最大級の不景気って言うけど、皆家もあるし、車もあるし、

ご飯だって好きなものも食べているのに。お金の困っているのって私だけじゃない？

どう見ても困っているようには見えない。それどころか私にはみんなお金を持っている気がするんだけど。

おかしい何かが違う。と感じるものがありました。

毎日、鬱々と考えていました。そんな時知り合いから「怠け者の悟り方」って言う本読んでごらんと勧められました。

その本には自分が考えている事は波動として周りの人に影響してやがて自分に返ってくるという事でした。

最初は全く分かりませんでした。この本宗教?とも思いました。その本を探している時にたまたま

ちあ魔法のホームページが目にとまりました。

自分の思いが人生を作る。人生は自分でいくらでも変えられる。と ホームページに書いてある。

ええ〜〜!!とと思いました。自分で人生変えられるの?うそでしょ!?

でも何となく気になる。すごく気になる。

運命は変えられない。人生そんな簡単に変われば苦労しないよ。そう思い込んでいました。

でももし自分で変えられるなら 変えたい。

この現状を変えたい、自分の中で葛藤しました。直感とエゴが喧嘩を始めたのです。

自分の人生ここまでどん底だからまいっかあ。

なにかにひかれ、これで自分が変わるかもしれないと いう思いもあり葛藤をしていました。

今思えば これが ハートの声 魂の声 直感なんですね。

ただセミナー代だけが心配でした。お金はない。でもどうしても行ってみたい。

結局あきらめきれなかった私は親に泣きつきました。

どうしても 受けないといけない そんな直感が働いたのです。

セミナーで自分にありがとうを言うと運気が上がると教わりました。

「真由美さん ありがとう。真由美ちゃんありがとう、真由美ちゃんありがとう」と ってみました。



ハートの内側に向けて いいます。

それまで自分の事を卑下したり責めたりした事はあっても自分に感謝する事は皆無でした。
それどころか言いたくないとまで思っていました。
が、いってるうちに 涙が出ました。不思議でした。
自宅に戻って お風呂の中で ありがとうをいいながら 涙が とどめもなく出てきました。

この『ありがとう』の感覚を実際に掴んでから 薄皮をはがすように 変化をしていきました。
セミナーを受けて私の考えは少しずつ変わっていきました。
マイナスの考えは自分の人生をダメにする。なるほど。
だから私の人生こんなになっちゃったのね。そう思っていました。全て自分がまいた種、自業自得だ。
だから 今度は自分を肯定しよう。劣等感もいらぬ。そう思えるようになりました。

劣等感の「私はバカ」前提は 病気で学校を休みがちで、
数カ月入院している時に 授業がどんどん進み追いつけなくなったからというのが わかり、
なんだ病気のせいなんだ、健康だったら違っていたかもしれない、自分は人より劣っていると いう思い込みもとった。
その思いが自分の人生を落とすのがわかったから、人より上とか下と思うのを止めました。
私は近橋真由美であり、上でも下でもないんだと 自分を認め出しました。

当時はネガティブ志向だったので 何でもゆがめていました。
本を読んだらゆがめ
テキストを読んだらゆがめ、
自分のいいように解釈していました。(自分は悪くない。まわりが悪いんだと いう感じです。
結局自分と向き合いたくなかったのです。自分と向き合わないから 上手くいけなくなり、どんどん悪くなるのに、)

これ 私に限らず ネガティブ志向が強い人がやる傾向だと 分かったのはつい最近ですが
これも自分が「失敗する前提だから ゆがめている。いいことが書いてあっても自分には無理とゆがめる
この前提も 「私はダメ、私は人より劣っている。皆は私を陥れる」といった妙な前提があってこれに 気づいて愕然としました。
自分の前提 を見直すと 歪みが見えてきます。

「不安前提」「焦り前提」「劣等感前提」これらを 癒していきました。

上手くいかない時は前提が間違っている この法則をしっかりと頭に入れていつも自分をチェックする事にしました。
「どうせ自分は無理」
「心を開くのは負けを認める」という前提で セミナーを聞いていたことがわかり
再受講で 聴き直すと全く違って聞こえたのに気づきました。

分かったつもり、上手くいっているふり。
素直じゃないから自分にとって 都合の悪い事は隠して答えだけが欲しい。そんな状況でした。

だから借金の相談はできませんでした。
懇親会の時に伝えていたら、良かったのですがそれができなかったのです。
チャンスはいくらでもあったのに、でも どこかで相談をしたいという直感がありました。(これは素直じゃないと損だなと思いました)



セミナーを受講してしばらくすると、ちあ魔女がコーチングを始めると SNS で知りました。

(当時、コーチング認定講師としてちあ魔女が 皆に行っていたのですが、1 か月に 30 名もの申し込みがあり自分の時間が全くなかった
ので、今は、公認セラピストストレスバスターズをを何名か 育成しにコーチングをしています。

私もコーチになり癒す側に回っています。)ストレスバスターズコーチングは本来 10 回が主流ですが 3 回ずつ更新にしていって 金
額も下げているので受けやすいのではないかと思います。3 回ずつ更新してもらっています。

ここで私の自分の人生どうにかしたいというアンテナが反応しました。

コーチングで激変するかも。そう直感がいつているのでした。

直感を無視して借金を背負った苦しい体験から、これからは直感に従って生きるんだ と決めていたので、絶対に
受けたいと思いました。

ただここでもお金の問題が出てきます。どうにかしたいけど、お金がない。でも受けたい。このどうどうめぐり。

分割払いできますか？ その一言が言えない。いい年をしてお金がないなんて恥ずかしい、みっともない。

ただ単にプライドが高くて素直になれない。

こんな感じですごく悩みました。ストレスでお腹もいたい。でも、どうしても受けたい。

そうすると不思議なもので支払い分割でもいいよ。と、無料の再受講のときに聞き(再受講無料は助かっています)

いうことを聞き、なに？ 分割でもいい？ その場で受ける事を決めました。迷っている暇は私にはないから。

捨てるものもない。これ以上悪くなるなんてありえない。

それ以上わるくなるなら自殺か自己破産か。はたまた夜逃げか。自殺と夜逃げは家族に負担になるし、

自己破産したら楽だろうけどそれはなんか違う気がする。それくらいしか選択肢が残っていなかった。

逃げることは何となく自分で許せなかった。無意識に転んでもただでは起き上がらないぞ。と、思っていました。

1000万近い借金がある事で月々の返済に追われて1円でも節約したい気持ちがあったけど

10回コーチングの2・30万増えたところであまり変わらない気がして金額はあまり気にならなかった。

むしろこの金額で人生やり直せて、楽に生きられるなら得だと思いました。

安い買い物かも。一かバチか自分の人生に賭けてみよう。なぜかこれ以上悪くなりようがない。

落ちたものは上がる事しかできない。そう思えた事で心の支えにもなり踏ん張れる事が出来ました。

当時の私は頑固で意地張り、人の話を聞くことが素直にできない。その事は自覚していました。

10回コーチングでなければ自分の思考は変わらない。たとえ変わったとしても薄っぺらで、

いつか元の借金まみれの人生に戻る気がしました。やるなら徹底的にやろう。

自分の人生を変えるチャンスはこのコーチングしかないと思っていました。

楽しみを知らず苦勞ばかり、みじめなまま自分の人生をこれで終わらせたくない。

10回コーチングを受けて、自分の人生を180度変える決断をしました。

このコーチングで私の人生は大きく変わった。

今まで誰にも相談できなかった借金について、やっと素直に話せる機会ができた。なぜちあ魔女に話す気になったのか。

それは否定も批判もしない。ただ現状を知ったうえでの中立なアドバイスが欲しかった。

両親に相談してもまず、批判・否定から入るし、

友達に話しても同情されるだけだし、哀れに思われるのも嫌。



どちらも私の事を思ってくれているのは良く分かるけど、両方とも当時の自分には重かった。話を素直に聞く心の余裕もなかった。それに話してスッキリこれでお終い。これだけは避けたかった。人生相談や世間に対しての愚痴ではなく、人生をどう立て直すのか、現状を変えるにはどうしたらいいのかが重要だったし、知りたかった。

コーチングが始まってすべてを話した。

借金で首が回らない事、働いても、働いてもお金は手元に残らず誰かの所へ行ってしまう。

私の所は素通りで中継地点になっている事。お金がないからすべての楽しみを我慢していること。

友達と遊ぶ事、休みを取る事に必要以上の罪悪感がある事。生きていても楽しくない。

母からは、死に物狂いでやらなきゃ成功なんてするわけがない。遊びの事を考えるなんてもっての他。頑張りなさい。

父からは、お前が客を選ぶなんて10年早い。簡単に金を稼げるわけがない。

この教えが私にとって必要以上に足かせとなっていた。それじゃ、いつになったら私は楽になれるの？

いつまで我慢すればいいの？不満だらけで稼いでもお金はすぐに自分の手元を離れるから仕事をしていても楽しくない。

誰の為に仕事しているんだろう？銀行のために仕事をするのかな？そう思っていました。

ヒエラルギセミナーで徐々にではあったけど変化もありました。周りの人からバカにされないようにいつも意地を張っていました。

異常なまでに力んでいた肩からは緊張感が取れて、いつも力が入っていた肩が楽になりました。

感情の許容範囲が広がった気がしました。小さい事にもこだわらなくなりました。

肩の力が抜けた事でコーチングの時には素直に自分と向き合えるようになったと思います。

コーチングで プライドは、とって素直に聞くように指導をされました。

プライドは

「バカにされたくない」前提だから 見栄を張る

見栄を張ると、できていないのをできたと主張する。が 結局できない で進んでしまうからプライドはいりません。

人生うまくいっている人はプライドがない人が多いんですよと聞きました。

そうなのぁと思い くだらない プライドが取れていきました。

上手いかない時は変な前提を持っているのがわかったので素直に聞くようにしました。

素直だと いい情報が沢山はってくる というのは 本当だと思いました。

——
コーチングで、千晶先生の第一声は、想像もしない言葉が。

「もう、店閉めたら？辛いでしょ。」

私は、や・辞める!? 最初は到底受け入れる事はできません。

「何言ってるんですか？辞めてどうやって借金を返せばいいの??そう思いました。」

ちあ「今のサロンを続けていると1年後 どうなっていると思いますか、想像してみてください」

近「、、えっと 今のまま 借金がもって増えている。イメージしか浮かばない、今でさえしんどいのに、
アップアップで おさきまっくらな もう生きているか死んでいるかわからない 八方ふさがりの 自分の顔が見えます」

ちあ「3年後 5年後 どうなっていると思いますか？想像してみてください」

近「3年後 暗い顔の自分が見えます。生きていないかも。」

5年後なんて 想像もできない。

ちあ「では サロンを止めて借金がこれ以上増えなくなった近橋さんを想像しましょう。」

近「明るいです。なにか サポートが入る感じがします」（しばしイメージ）

ちあ「だったら、やめて自宅でサロンをやってもいいし、家賃代金かからないから



また借金を返したらサロンを借りてもいいし 今は返済だけにしてはどうでしょうか？ 提案なんです」
近「うー————ん」

ちあ「次回までに 考えといてね、直感に従うとうまくいくから直感のサインを見逃さないでね。」

では 今日のコーチング終わります。セッション表は後で送りますね」

近「ここで 自分で考えてね～で終わってしまったのです。」 焦りました。

え～ これが第一回目のコーチング？

もう。店を閉める=無収入と思いついていたので、その場で はい、そうですね。とはならなかった。

考えてみます。それが精一杯の返事でした。それから次のコーチングまで悩みました。

辞めることで融資の金額だけになる。ただお客さんはいなくなる。

支払いに対する不安が大きかったのでなかなかやめる決断ができませんでした。

それでも、このまま辛い思いをしながら店を続けるか、負け犬かもしれないけど店を閉めて楽になるか。

究極の選択。正直他人から負け犬とみられるのがいやだった。このプライドがやっかいです。

でも もうすでに、1000万借金がある段階で 負け犬じゃん。

そうだね。負け犬のくせいに 負け犬とみられるのがいやって

私のプライドはなんて浅はかなんだろう、バカみたいだ。そう思ったら楽になった。

プライドを取って

本当に自分はどうなりたいか、そこを明確にする事が大事だと 今は思います。

このプライドと言えば格好いけど 人の目を気にしていた私。他人は私の人生に責任を取ってはくれない。

誰のための人生か？ となりの人じゃない、私の人生だ。だったらプライドもいらない。

店をつづけた自分の未来をイメージすると最終的には段ボールハウスで暮らしていて、世捨て人になっている気がした。

かなり現実味もある。これはまずい。

辞めたらどうなるかわからないけど続けていてもどうにもならない。

そう思って店を閉めることにしました。

次回までに考える。というのがよかったのかもしれませんが。

逃げないと決めたので、これがコーチングのだいご味なのかもしれません。

いつでもいいよといわれたら 私の事だからきつと先延ばしをしていたと思うのです。

最初は次回までに決めろっていわれても 10日やそこらで決めれない そう思ったのですが、

逃げないと決めたので 10回必ずやり遂げて、人生を変えるぞと思ったので、プライドも見えも捨てて、決断しました。

開き直ったか、これ以上落ちないから もういいや決めちゃおという決断

決めてしまえばどうって事なく、かえって緊張から解放されて気が楽になりました。

不思議ですが 決めたら心が楽になり、色々とスムーズに動きだしました。

止まっていた人生の時計が進み始めた 感じ です。これがコーチングの凄さだと思いました。

撤退するにもお金が掛かります。

引っ越し費用に、

テナントの原状回復。作った内装はすべて壊して返さないといけない。

力仕事は何の苦にもならないから自分で壊しちゃえ。待てよ、むやみに壊して大丈夫？



工事を頼むか。お金がないのにさらに借金を増やしても意味がない。作るならまだしも壊すのに大金を費やしたくない。幸い高校時代の友人が大工さん。聞いてみよう。

私「店閉めることにしたの。原状回復で返さないといけないんだけど素人が内装を解体しても大丈夫かな？」

友「大丈夫だと思うけど、ひとりで作るつもりか？」

私「大丈夫でしょ。作る事はできないけど壊すことなら得意だし。何かあったらまた教えてね。ありがとう」

ラッキーな事に運送会社で務めていた友人もいて「仕事終わりでよければトラック出すぞ。」

言って後輩を連れて無料で引っ越しを手伝ってくれた友人もいました。

これから壊すぞ。という時に、ラッキーな事に大家さんから内装はそのままでもいいと言ってくれました。

大工の友人も心配になって仕事終わりに様子を見に来てくれた。

店をやめる決断をしたら不思議と周りの友人、知人が手伝ってくれました。私は何て友人に恵まれているんだろう。感謝だわ。そう思いました。

決断すると道は開ける と習ったけど 本当にそうなんだと実感しました。

決めないと動かなくて なにもかわらないけど、決めたら 人生が 変わり始めました。

もう大丈夫 やっと枕を高くして寝れるそう思った。決断って大事だと思いました。

決断したつもりと 決断は違います。

自分を追い込んで 人生の決断をしたのが よかったのだと思います。

ちあ魔女から「方法わからなくても、いいから 決めちゃいましょうと聞いていましたが、まさに 決めると進むんですね 病気の方が 完治を決めると 治るというのを、ヒエラル気受講師の方々を通してみてきましたが 恐るべし 決断ですね。

この決断の感覚。自分の内側に行くのがポイントになります。外に向かって決断をするから 上手いかなくなるのですが 内側に向けて行くと自分にありがとう同様 色々と変化をしていきます。

内側。自分にありがとうもハートの内側という事で号泣したので

この内側の感覚が大事なんだと思います。

ハートの真中 魂といわれる場所に向かって 決断をする

その前に自分にありがとうをたくさん言って その場所を確認しておくといいですね

この決断をすると ハートが 暖かくなりました。それが GO サインなんですね」

だからハートのサインを 大事にする。

そのあと 自宅で サロンをやっている イメージをありありと行った

これも 効果がありました。

イメージし、不安を持たずに確信を持つ が鍵だと聞きましたが、本当に必要なお客様がのこってくれました。

お金がない支払いが困る といった時は 決まって その足りない金額の分のお客様がやってきてくれました、

そうして 支払いが 楽になっていきました。こういった偶然が 何度もありました。

何とか融資返済分くらいは賄えました。

なんだあ。心配して馬鹿みたい。そう思ったのです。 お金は入ってくるんだ、と実感したのもこのころです。

決断がしっかりできていたら必要なものはそう。そうちあ魔女はいついたけど、本当に入ってくるのです。

この時は私は、決めるだけなら」と素直に決断をしていました。

お金が入らなかつたらどうしようという思いも余裕もなかつたです。



絶対入ってくるはず これもコーチングの時に、何度も自分に言い聞かせて、
「必要なお金は必ず入ってくる。お金の神様は私を見はなさない、ハートの声に従ったらうまくいく。」を
いい続けていたからかもしれません。

こういった体験を何度も経験すると、もうお金は入ってくるはずという信念に代わっています。
まずは前提を変え それが信念に定着すると人生がその通りになる、そう習いましたが まさに、その通りになりました。
信じる力がすごいです。前提を変えると信念が変わる→ 思考が変わる→結果が変わる)

イメージできることは叶う。自分で打ち消さなければ叶う。
イメージできることは叶う。自分で打ち消さなければ叶う。
イメージできることは叶う。自分で打ち消さなければ叶う。
と いヒエラル気のテキストを 何度も何度も 読み返して自分に言い聞かせました。

そしてそれが
本当だなあと思います。自分が浮かんだイメージをうち消さない。そのために感情を、しっかり把握する
自分の感情が、ワクワクして このまま信じたら叶うよと教えてくれるんですね」
「人生こんなので終わらせない」という 思いが 糧にあつたのかもしれない

決断で新たな道も開けました。以前から漠然と人の役に立ちたい。とっていました。
今までは借金の事で精いっぱい 考えるゆとりがなかったんですが 自分にゆとりができたなら
人の役に立ってみたい そう思えるようになり、コーチングでいわれたアドバイスを実行しました。
「どうしたら役に立てるだろう？」を自分に何度も何度も 100回 200回質問をし始めました。
自分はどんな役に立てるだろうを意識し始めました。

すると。たまたま知り合いから鍼灸師の学校に行ってみないかと誘われました。
その瞬間、あっ、おもしろそう。そう思いました。
ただ借金の現状から逃げるために学校に行くのは、ちょっと違う気がする。そう思いました。
これは逃げなのか、人生の分岐点なのか自分では判断が付かなかった。
その時はコーチングで、聞いてみよう。そう思いました。

私「鍼灸の学校に行ってみないか？って誘われたんですが、どうですかね。」

ちあ「その時どう思ったの？」

私「あっ、おもしろそうだな。そう思いました。」

ちあ「ワクワクしたなら直感信じた方がいいよ」

私「これって逃げじゃないですよ」

ちあ「ワクワクしたならいいんじゃない。それが直感に従うってことですから」

私「そっかあ、じゃあ行ってみようかな お金ないけど、学費は後だ、先ずなる事をきめちゃおう」

今思い返せば10代の頃は勉強が大嫌いで全く勉強しなかったのでもし勉強できるチャンスがあれば今度は勉強するぞ。
と思っていた事を思い出しました。これはチャンスかも。よし、行ってみよう。そんな風に簡単に決めた事を覚えています。

鍼灸の学校に行きたい そう家族に宣言をすると。ふだん仲良くなかった疎遠だった祖母が 学費を援助すると
いってくれました。これはありがたかったです。本当だ 必要なものはさう、この信念が 確信に変わりました。

そして、猛勉強を始め、昼はサロン夜は学校に通い 鍼灸師の資格を取りました。



お客さんも 理解してくれる人ばかりで、学校がない時間帯に来てくれました。

不思議な事に 支払いに困ると 決まって予約が入り お金が足りてしまう。という事が数回起こり、

そのうち必要なお金ははいつてくるんだと確信につながりました。

やったことは お金が足りた場面を想像し安心感を味わった瞑想をしたことだけだったのですが、不思議といつも入ってきます。

そしてお金に困ることはなくなっていました。

この勉強の時にも合格いた自分をイメージして、頑張りました。イメージでは受かっているからあとは時間だけ

そうやって勉強をしていきました。若い人と交じり膨大なつぼを憶えるのもしんどかったのですが

「国家資格受かるだけなら 満点を目指さなくていいよ。70 点でもいいんだから 気楽にいったらいいよ」

といわれて、満点を取らないといけないというように思っていて できない所があると焦っていたのですが

ああそうかと肩の力が抜けて 試験を受ける事が出来、見事合格

そして、体の専門家として アドバイスができるぐらいになり、その時にちあ魔女に鍼灸師が受かった報告をしたら

ストレスバスターズでやってみてはといわれ、今度はコーチングを学び健康や お金のコーチも していきたいと思っています。

あれだけあった借金もほぼ返済をし 人生を楽しみはじめました。数年前 のどん底からは 考えられない人生です。

5年間で 借金を返済し、鍼灸師の学校まで 卒業。人生が激変しました。

私のように どうしていいかわからない人 コーチング、ヒーリング 針で 皆を元気にしていきたいです

私の体験を聞いていただきありがとうございます。

ストレスバスターズでは、実生活に役立つスピリチュアルコーチング、遠隔ヒーリング。透視、なども受け付けています

ストレスバスターズ近橋真由美 <http://www.healingroomai.com/stress-busters/>